

皆でワイワイ遊ぼうボードゲーム特集

ツキサスホールデム

～ 勝負だ！突き刺せ！粘土細工に魂込めろ！ ～
4～12人／30分

多人数で遊べる楽しいパーティゲーム。
このゲームの醍醐味は、ゲームを始める前から別の勝負があること。

はじめに粘土をこねて自分の分身を作ります。
心をこめた力作を自慢しましょう。（これ重要ですw）

みんな作り終わったらテーブルを囲んで座って自分の前にそれを置き、爪楊枝の槍を10本貰ってカードゲーム勝負が始まります。

全員の前に裏向きでカードが1枚ずつ配られます。
こっそり見てそのカードで勝負するか降りるかを順番に宣言します。

カードは1～10の数字とXが書いてあり、基本的には大きい数字が勝ちですが、カード毎に特殊効果があって他の人が出したカードとの組み合わせで強弱が変動するので1枚出すだけなのに駆け引きが結構あります。

勝負を降りた人を除き、残った人はカードを公開して強弱を比べます。一番弱い札を出した人が負け、勝負に参加した他の人は全員勝ちです。

勝った人は全員、手持ちの槍を1本負けた人の分身にぶすっと突き刺すので、あっという間に分身たちが針の山に。

誰かが手持ちの10本使いきったら終了で、手持ちの残数と自分の分身に刺された本数を足して少ない人が優勝です。

無傷できれいな分身の人が勝ちなんですけど、無残に刺されまくった人のほうが見栄えのよいw作品に仕上がりますから、終わったらみんなの分身を並べて記念撮影ってのも定番です。

勝負しなければ負けて刺されることもありませんが、手持ちの槍も減らず終わった後で消化不良な感が残ります。

どんどん熱い勝負をして大笑いするゲームです。



文：榎田孝志

漢コレ！

～ 漢字を制する者は・・・？ ～

4～12人



最近流行の擬人化ゲームとは全く関係ありません。
いわゆる大喜利系です。

漢字のへん・かんむりとつくりのカードを組み合わせ、新しい漢字を作って発表します。

つくりのカードを各人5枚持ち、へん・かんむりのカードが人数分だけ真ん中に置かれて公開されるので、早い者勝ちで1枚取って、手持ちのつくりと組み合わせ漢字を作ります。

この種の遊びは結構昔からあるんですが、手軽に遊べるパッケージにまとまってるところがいいですね。



写真は、亀（カメ）が飛ぶ、で「ガメラ」。

私は、けものへんに小さいで、「ハムスター」にしてみました。

手軽に遊べてちょっと笑いやらふむふむ感心やら、話のネタになるので、初心者向けに活躍してくれそうな予感です。

小学生にはちょっと難しそうという意見が多いんですが、漢字に親しむきっかけにでもなればいいですね。

ブログ「はりらんタイムズ」から抜粋

http://blogs.yahoo.co.jp/hari_rann/64132192.html

文：榎田孝志